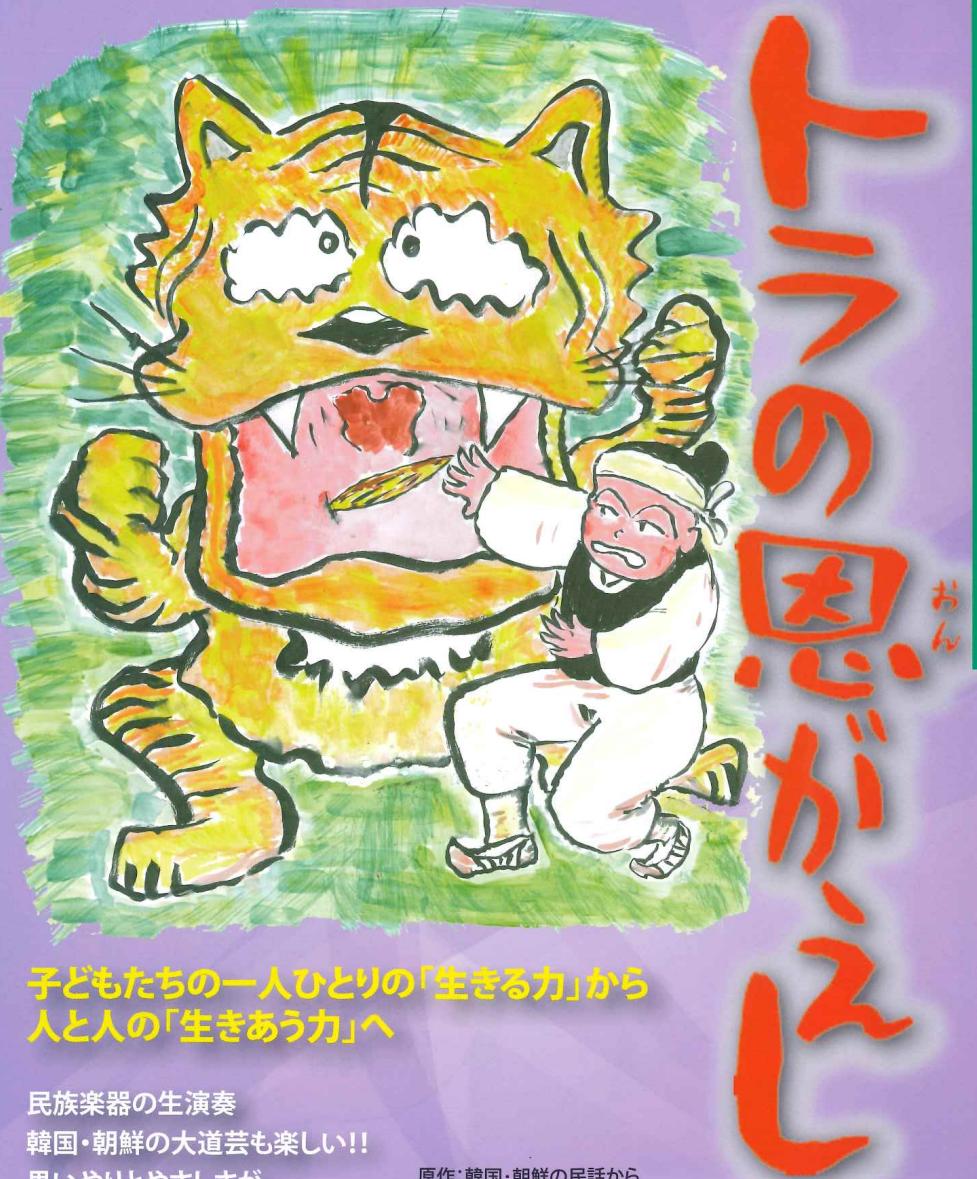


厚生労働省社会保障審議会特別推薦児童福祉文化財
一般財団法人 児童健全育成推進財団2019年度児童福祉文化財



子どもたちの一人ひとりの「生きる力」から
人と人の「生きあう力」へ

民族楽器の生演奏

韓国・朝鮮の大道芸も楽しい!!

思いやりとやさしさが、
トラと木こりの心をつなぐ!!
笑いあり涙ありの物語。

原作:韓国・朝鮮の民話から
音楽:韓国・朝鮮の伝統音楽、李在浩
脚本・演出:韓国・朝鮮と日本チーム
美術:内山勉、新井真紀
出演者による集団創作(デバイジング)

オペレッタ劇団ともしび

日本児童・青少年演劇団協同組合 加盟
国際児童青少年舞台芸術協会(アシテジ)日本センター 加盟

エンディングは、韓国・朝鮮の大道芸

オペレッタ 韓国・朝鮮の民話より
ト ラ の 恩 が え し
うたごえが
会場いっぱいに
あふれます。



制作にあたって

オペレッタ劇団ともしびが「金剛山のトラたいじ他」に続きお送りする、韓国・朝鮮の昔話第2弾「トラの恩がえし」は、広く語りつがれているお話です。トラと人間が互いに殺し合っている時代に、トラと人間の「友情」が生まれました。

たがいに相手を知ろうとしない、無視する、さらに憎み合うという話は、昔話どころか、私たちの身の回りでも日々起こっていることではないでしょうか。 みな蔓延しつつあります。

心寒くなるような事件が多発する昨今、人々の平和と安寧を願わない日はありません。

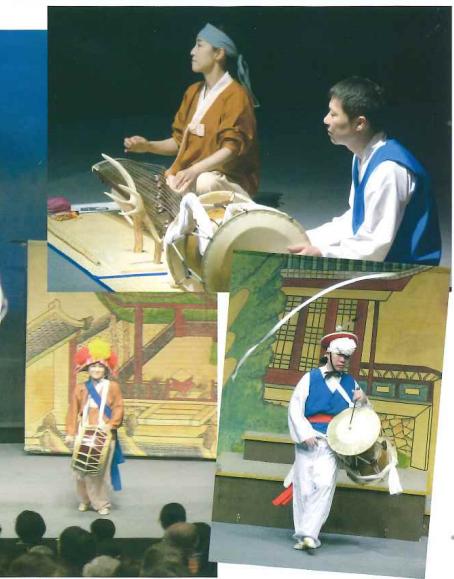
優しさ、相手に対する思いやりは憎しみを超えて互いの人格を尊ぶ心を育てます。 芸術作品は子どもたちの心を育てます。

昨日までの体育館が今日は劇場に大変身!

劇団が舞台と客席を設営します。体育館の広いフロアで身近にダイナミックに演じます。



チャング、ブク、ケンガリなどの演奏にあわせての大サンモ。
コミカルで楽しくダイナミックなボナ回し(皿まわし)。
思わず、歓声と拍手が…



あれ?お前、こんなにひどいケガが… 動くんじゃないよ!



「トラの恩がえし」あらすじ

昔むかし、朝鮮半島にはトラがたくさんおりました。人間はトラの皮を宝物として珍重し、一方トラは、人間を喰うので、お互いに怖れあい、憎み合っていました。山奥で母親と二人で暮らす、若い木こりが、ある日、痛みで苦しんでいるトラに出くわし、助けてやります。思いがけず助けられたトラは、怪我がなあと木こりへの恩がえしを始めるのでした。

さて最後の恩がえしは…

上演時間80分(休憩なし) 構成7名 暗幕不要

今日も山に木を切りにー。